

【第 1 回療育研修会開催報告】

・開催日：令和8年 6月 28 日(日)

・内容：テーマ『長期的視点で考える発達障害児支援』

<第 1 部> (9:30-11:00)

講演 『神経発達症の子って、大人になるとどうなるの?』

福井大学精神医学教授 小坂 浩隆先生

<第 2 部> (11:15-12:15)

グループワーク 『成人期の姿から考える「今」のかかわり』

第一部の講演では福井大学精神医学教授の小坂先生より、神経発達症の考え方から自閉スペクトラム症や注意欠如多動症の特性、症例までわかりやすく、丁寧にお話ししていただきました。神経発達症特性をもつ人は環境とのミスマッチで社会適応不全となっていること、環境調整が大切であることを改めて知る機会となりました。

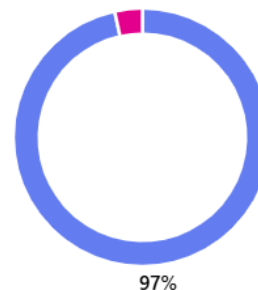
第二部のグループワークでは、講演の感想とともに、自分たちが子どもたちに支援するうえで考えていきたいことを話しあいました。日々支援をするうえで悩ましいことも他の支援者と共有することで前向きに考えることができたのではないかと思います。

・参加人数：61 名

・アンケート結果：

<第 1 部>

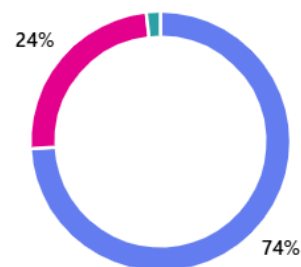
● とても参考になった	56
● 参考になった	2
● あまり参考にならなかった	0



<第 2 部>

グループワーク

● とても参考になった	43
● 参考になった	14
● あまり参考にならなかった	1



・参加者の声（一部）

- ・小坂先生の社会適応能力と周囲のサポートの話がとても分かりやすかったです。大人になって発達障がいだと気付くケースをよく耳にしていたのですが、いかに小さい頃から拾い上げて支援していくことが大切か改めて感じました。
- ・小坂先生が最後におっしゃった、親だけでなく、信頼のおける他人がいることが大切、という言葉がいつも心に留めて子どもたちとかかわっています。認めて頂いたような気がして、嬉しく、これからも励んでいきたいと思いました。
- ・小坂先生のご講義が非常に参考になりました。
- ・講義の内容がとてもわかりやすかった。
- ・普段、大人になって障害が分かった方の困り感を日々見ているため、子供の頃からの療育がその後の人生の土台としていかに重要かを改めて感じました。
- ・グループワークも色々な地域、職種の方々とお話しでき、共感したり教えていただいたり有意義な時間でした。
- ・今回初めて参加しましたが、子どもの支援に関わる様々な機関の方とお話しできたことで、新たな

視点をもつことができました。

- ・意見交換会で保護者へのアプローチの方法をお聞きすることができて、とても参考になりました。
- ・日々子どもたちとの関わり方を考える機会になった。関わり方や支援方法で、気がかりだと思っていた部分がなくなり生きやすい社会になっていくので、子どもが過ごしやすくなる、楽しい毎日を送れる支援ができる！人になりたいと思った。
- ・いろんな立場の人が熱意をもって、子どもたちと関わっていることがわかり、話もでき、大変有意義でした。
- ・多職種、他機関の様子も分かり大変参考になりました

